

ネット上に個人情報が公開されてしまった事案について



先日、県内の企業ガイダンスサイトに登録した学生の個人情報が、ネット上で誰にでも閲覧できる状態にあったことが判明しました。検索サイトから学生の個人情報を管理するページにアクセスでき、パスワードなしで閲覧可能な状態でした。

日本情報経済社会推進協会の、昨年度における「個人情報の取扱における事故報告集計結果」によると、事故は年間で2千件前後が発生。原因はメール等による誤送付が6割、紛失が2割、その他となっていますが、「その他」のうち7割が事務処理作業・プログラム・システムの設計ミスとなっています。



こういった事故の発生原因は、公開設定やアクセス権限の設定ミス等「ヒューマンエラー」と呼ばれるものが多くなっています。システムを理解している担当者にまかせきりになってしまい、チェックする者がいない状態で発生します。

- ① 確認の手順やルールの見直し
- ② 2重チェック等具体的な手順の工夫
- ③ 注意喚起・教育 ……等を実施し事故を防ぎましょう。

参考 一般財団法人日本情報経済社会推進協会
「個人情報の取扱における事故報告集計結果」
独立行政法人情報処理推進機構
「情報漏えい発生時の対応ポイント集」